

調べものの強い味方！レファレンスサービス！



普段、みなさんが図書館にきて、本を探しているとき、「〇〇の本を探しているけど、わからないなあ」とか「〇〇の本が好きなんだけど、他にどんな本があるのかなあ」などと思った経験はありませんか？そんなときは、図書館の人に相談をしてみましょう。

図書館には「本の相談」という場所があります。ここには、図書館で働いている人がいて、図書館へ来た人の相談に答えたり、本を探したり、どんな本をみればいいのか、どの本棚に行けばいいのかなどアドバイスしてくれます。

「レファレンス」という言葉は聞きなれないかもしれませんが、図書館では調べもの相談やお手伝いという意味です。もし、みなさんが「こんな内容の本をさがしている」「自由研究ってどうやったらいいのかわからない」といふ場合も読んでほしいのかわからないという場合もぜひ相談してみてください。調べているテーマの参考となる本など、いろいろ紹介してくれますよ！でも、「宿題の答えを教えてください」「クイズの答えを教えてください」という質問には答えられません。答えは自分で見つけてください。



自分で本を探してみよう！

- ・新しい本
- ・本のランキング
- ・イベント情報

本の検索だけでなく、他にもいろいろなことが調べられるよ！！



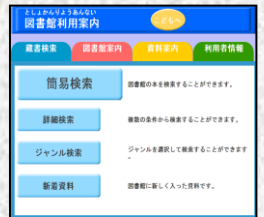
図書館の本の種類や分類、並び方などがわかってくると、自分で本を探したり、調べ学習に必要な本を見つけることができます。そんな時に便利なものがあります。それは、OPACといふものです。OPACとは、コンピュータを利用して図書館の本を検索することができる仕組みのことです。

右の図は潮来市立図書館のOPACの画面です。OPACで検索することで、自分の探している本が図書館にあるかどうか、またこの本棚に並んでいるのかなどを調べることができます。また、図書館が所蔵している本・雑誌・視聴覚の種類に関係なく探すことができます。図書館内に3台あります。指でタッチして操作をします。どれか一つのキーワードで検索するときは、簡易検索。いろいろなキーワードを組み合わせて検索するときは、詳細検索。「普段から使っているよ！」という子どももいましたが、上手に使い分けて自分の好きな本をどんどん探してみよう！

第2期子ども司書講座

新聞

第3号



貸出と返却の体験（練習）

図書館のカウンター（窓口）にはいつもエプロンをつけたお姉さんたちがいます。図書館で働いている司書さんです。窓口では、本の貸出や返却、相談受付など、いろいろなお仕事をしています。そんな窓口でのお仕事を次回の講座で体験をしていただきます！体験内容は本の貸出と返却の受付です。実際に図書館に利用者に本を貸したりします。パソコンを使って操作するので、今回は、その練習をしました。みんなはじめの体験になるけれど、上手に操作していました。本番はもっと緊張しちゃうから、沢山練習してがんばってみよう！

